

御代田町つながりサポート事業【長野県御代田町】

個別事業費	5, 229 千円
交付金額	3, 529 千円

地域の実情と課題

長期振興計画で男女共同参画の推進を掲げ、令和3年10月「男女共同参画推進条例」を制定、令和4年11月には「第1次御代田町男女共同参画計画(女性活躍推進計画含む)」を策定した。貧困や孤立等から様々な困難や不安を抱えた女性がみられ、相談件数も増加していることから、潜在化している女性がまだまだ多く存在している。

事業の特徴

- ①女性の孤立化防止: 町内に潜在する困難を抱えた女性の早期発見、「つながりサポートルーム」「椅子ヨガ+お茶会」の実施。予防啓発を行うための人材育成研修。
- ②アウトリーチ: アウトリーチ体制の関係機関(ハローワーク・民生児童委員会、NPO・ボランティア団体、包括支援センター)との連携強化。
- ③生理用品等の提供: あらゆる機会を通じて生活困窮状態にある女性をさらに把握し、生理用品等の提供を継続した。
- ④女性活躍サイトの運営: 町内で活躍されている企業、団体等の女性活躍をHPに掲載。

事業の効果

孤立化する女性と接触する機会を創意工夫のうえ改変した効果もあり、アウトリーチによる相談の実人数は令和6年度1,754人と令和5年度1,679人から増加した。生理用品などの配布は、人との接触を避ける女性への接近に役立ち相談実人数増加に貢献した。居場所「つながりサポートルーム」は年間で116名の利用があり、より多くの悩みを抱えた女性の心の拠り所として定着し始めた。また女性活躍サイトは、女性活躍を喚起するツールとして一定の役割を果たすことができた。

目的・目標

様々な困難や課題に直面する女性を支援することを目的に実施した。

- ①目標値に対して386%であった。(目標: 30名、実績: 116名)
- ②目標値に対して116%であった。相談員の不断の努力の賜物であり、一連の取り組みによって救われた女性が多い。
(目標: 1,500件、実績: 1,754件)
- ③相談を必要とする女性の掘り起こし、④については一般女性活躍の喚起に有効なツールであるため継続していく。

連携団体

- ・御代田町社会福祉協議会
- ・長野県
- ・長野労働局

今後の課題

相談者の増加は引きこもりがちな女性が徐々に相談しようと向き合う姿勢に変化しつつあることを表している。その姿勢をさらに進め、社会復帰・自立へと後押しすることが、つながりサポート事業本来の目的と考える。目的達成には相当な担当者の配置等人的支援も不可欠である。現実には御代田町社会福祉協議会の女性相談員は年間延べ1500件を超える相談をおこなっており、個人が対処できる業務量を遥かに超えている。相談員の増員のみならず、専任の事務担当者の配置も急務である。

事業の概要

課題を抱える女性へのアウトリーチと継続した伴走型支援により、
包括的に生活をサポートしていく

